

レジオネラ症

2016年36週に8例の届出があり、2016年1～36週の届出数は47例となった(図1)。過去5年の平均届出数を大きく上回る届出があったことから2016年1～36週に届出のあった47例の発生状況をまとめた。

図1 2016年1～36週千葉県のレジオネラ症届出数 47例

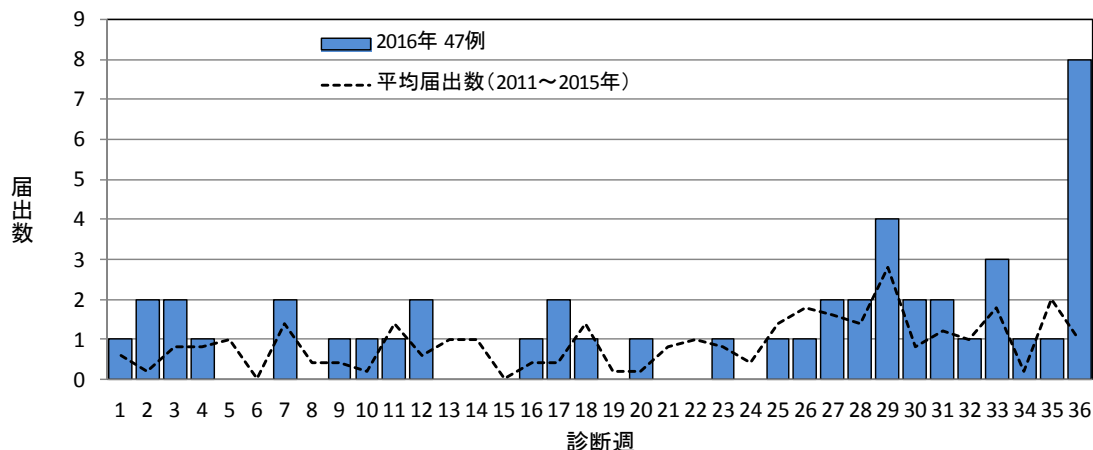
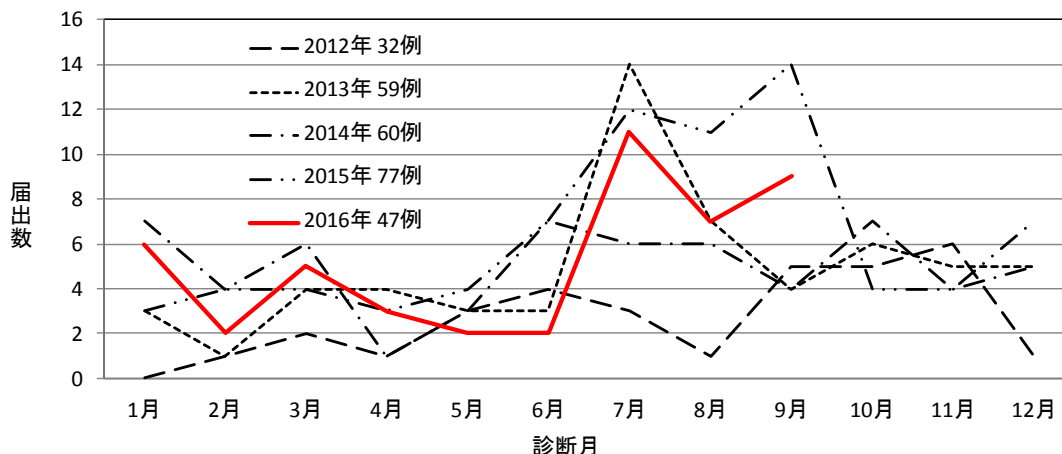


図2 2012年～2016年36週千葉県のレジオネラ症診断月別届出数 275例



保健所別では、印旛12例、松戸9例、千葉市7例、市川5例、柏市5例、君津2例、香取2例、習志野1例、船橋市1例、野田1例、海匝1例、市原1例であった。

性別は、男性40例(85.1%)、女性7例(14.9%)で男性が多かった。

年齢群別では、20代1例(2.1%)、30代2例(4.3%)、40代1例(2.1%)、50代5例(10.6%)、60代18例(38.3%)、70代12例(25.5%)、80代7例(14.9%)、90代1例(2.1%)であった。

診断月別では、7月11例、8月7例の届出があり、9月はすでに9例となっている(図2)。

病型別では、肺炎型46例(97.9%)、無症状病原体保有者1例(2.1%)であった。

患者46例で症状等として記載があったのは、発熱41例(89.1%)、肺炎39例(84.8%)、呼吸困難18例(39.1%)、咳嗽17例(37.0%)、下痢5例(10.9%)、意識障害4例(8.7%)、多臓器不全2例(4.3%)、腹痛1例(2.2%)であった(複数報告あり)。

診断方法は、尿中の病原体抗原の検出47例、分離・同定による病原体の検出1例であった(複数報告あり)。